



考えましょう
話しましょう

1 あなたのふるさとや、住んでいる町のオススメの食べ物について話しましょう。

ここで話す内容は、故郷の料理についてでもいいですし、日本で住んでいる町（地域）の料理についてでもいいです。自由に話せるあたたかい雰囲気づくりが大切です。自由に話すワークで時間を決めることはなるべく避けたいですが、参加人数が多い教室の場合は、おおよそひとり1分など想定時間を決めてもいいです。

2 買い物について

買い物のときに気をつけることは、「値段」「産地」などいろいろな意見があると思います。まずサポーターがいくつか例を示し、そのあとは全体で自由に話すかたちがいいと思います。「賞味期限」「消費期限」について参加者から意見が出ない場合は、3のワークにつながるように、サポーターが示してもいいです。

3 見て、考えましょう。

このワークは、2、3人のグループで話し、そのあと全体共有するかたちがいいでしょう。実際に賞味期限、消費期限が書いてあるほかの食べ物を見ながら話せるといいと思います。準備ができれば、日本のものだけでなく、ほかの国や地域のものであると、記載方法の違いを話し合うことができますと思います。

読みましょう

コンビニやスーパーなどで働いている参加者がいれば、お店の取り組みについて聞いてみて
もいいかもしれません。

考えましょう
話しましょう

1 「食品ロス」にはどのようなものがありますか。

本文の1～3行目を参考に考えます。

グループではなく、全体で確認するかたちでいいと思います。教室の人数に合わせて
ご判断ください。

2 日本の食品ロスの量は、毎日、大型トラック約何台分でしょうか。

農林水産省のデータを参考にしています。最新データがあれば、確認しましょう。
グループではなく、全体で確認するかたちでいいと思います。こちらも教室の人数に合
わせてご判断ください。



農林水産省（2017年3月発表）「図7-6 食品ロスの原因」
<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/ishiki/h29/zuhyou/z7-6.html>



3 家庭では、どのようなときに、どのような理由で食品ロスが出るとおもいますか。

ここではサポートサイトのグラフを見ながら、確認してください。グラフの回答例の意味を確認しながら進めましょう。3人前後のグループで話し、そのあと全体で確認するのがいいと思います。

いっしょに /
学び合いましょう

1 食品ロスを減らすための取り組みについて知りましょう。

地域や店、団体の取り組みを知るために、サポートサイトの取り組み例を示しながら、進めてください。サポーターがずっと話すのではなく、参加者が知っている情報があれば、話してもらってもいいでしょう。対話しながら進めてください。

2 食品ロスを減らすために、あなたがしていることはありますか。紹介しましょう。

3 食品ロスを減らすために、あなたにできることは何ですか。買い物のときにできること、外食のときにできること、家庭でできることなどを考えて、話しましょう

2と**3**は、3、4人グループで話すのがいいと思います。**2**と**3**合わせて、グループワークは8分程度でいいです。グループごとに、ホワイトボードや模造紙などに書きながら進め、最後の全体共有では、それらを見せながら発表するといいいと思います。

書くことばを日本語に限定する必要はありませんが、全体発表のときは、参加者全員がわかるように発表できるといいいです。



必ず振り返りを行ってください。長くても短くてもいいです。その日の活動を言語化することで、学びが深まります。また、他の参加者の振り返りを聴くことも大切です。

※振り返りの進め方などは、ユニット1に「まつお一口メモ」があります。あわせてご覧ください。